

マツダ財団 2019 年度

「青少年健全育成関係 研究&市民活動 成果報告会」参加報告書

今年度マツダ財団の支援を受け活動した研究者及び市民団体による成果報告会が下記の通り開催された。UNCCA は溝田代表・松井の 2 名が参加し、ポスターセッションにおいて「ミニソーラーカー工作教室」の活動成果をパネル及びソーラーカーを展示し発表した。

成果報告会の概要

開催日時：2020年2月11日(火) 13:00~17:00

会場：広島市西区民文化センター 3FL 大会議室 A (研究者報告・パネルディスカッション)  
B,C (市民活動ポスターセッション)

報告会の内容：別紙参照

別紙 1：マツダ財団 2019 年度青少年健全育成関係 研究&市民活動成果報告会」式次第  
基調講演レジュメ

別紙 2：マツダ財団 2019 年度終了研究助成一覧 —青少年健全育成関係—

別紙 3：マツダ財団第 35 回 (2019 年度) 青少年健全育成関係 市民活動支援団体一覧表

UNCCA 展示：市民活動ポスターセッション (別紙 4：会場配置図)

- ・パネル (別紙 5)、ミニソーラーカー完成品 2 台、ミニソーラーカー工作キット、図面、工作手順書を展示。ミニソーラーカーは電球を点灯してモーター(車輪)がソーラーパネルの発電で回ることを再現した。
- ・ポスターセッションは参加団体が 2 班に分かれ 30 分間毎に入替って他班の展示を見学し意見の交換を行った。
- ・ポスターセッションにおいて長門市中央公民館館長から夏休みの工作教室実施について協力の依頼を受けた。依頼があれば協力することを約束した。

感想等

- ・ポスターセッションは各団体が A0 版の用紙でそれぞれ個性的で活発な活動紹介をしており、迫力を感じた。UNCCA は A1 版パネルで少々迫力不足でした。
- ・パネルディスカッションで印象に残った言葉

テーマ①「青少年と地域の繋がり」:

- ・対象をしっかりときめてかかる
- ・うそのない活動をする
- ・地域のことをよく知ること
- ・行政の注目を得る

テーマ②「青少年の自己肯定感の向上」

- ・失敗や上手くいかなかったことを乗り越える
- ・目的を達成する力をつける
- ・地域にでていく

テーマ③「後継者育成」

- ・若者を引き込むしくみ
- ・適任者指名して依頼
- ・資格制度化
- ・後継者を含んだ仕組みづくり
- ・学生参加者を増やす
- ・地域の繋がりを強める

写真



①会場入口



②準備



③研究者報告会



④ポスターセッション



⑤UNCCA のポスターセッション



⑥ソーラーカー展示



⑦UNCCA セッション訪問者

以上